

自作教具の活用事例

<p>【作品名】</p> <p>お手玉でポッチャ</p>	<p>【学校名】</p> <p>日上市立滑川中学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】</p> <p>自立活動（区分⑤身体の動き）・保健体育 構成的グループエンカウンター（仲間作り）</p>	<p>【制作者名】</p> <p>近藤 雄二郎</p>
<p>【制作の意図】</p> <p>「物を投げる」という一見単純に思える動作について、手首、肘、腕の動きを認識し、距離や弾道を調整するために身体をどう動かせばよいのかを考えさせたい。また、集中力を高める訓練としても期待している。</p>	<p>【使用方法】</p> <p>布製のお手玉を、床に張られたテープの得点枠内に向けて投げる。</p> <p>《ルール》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全のため、下投げで投げる。 ・地面を滑る、転がるように投げる。 ・お手玉が止まった枠で得点が変わる。
<p>【制作上の工夫】</p> <p>得点枠は色別にして、視覚的に分かりやすくした。高得点の枠は小さくし、難易度を調整した。</p> <p>お手玉は市販のものを使ったが、軟らかい材質（布や新聞紙等）で、球体に比べて転がりにくいもの（サイコロや薄い円盤等）であれば、他の物でも代用できる。</p>	<p>【見取り図】</p> <p>お手玉  を投げて、止まったエリアの得点が入る。</p> <p> プレイヤー</p> <p> 1点エリア</p> <p> 3点エリア </p> <p> 5点エリア</p> <p> 10点エリア</p>
<p>【写真】</p> 	<p>【使用効果と応用発展】</p> <p>力任せに投げると得点できないこと、得点するためには力や投げ方を調整しないとイケないことを実感できる。実際に生徒は投げる力を調整しようと集中していた。</p> <p>また、他の球技（カーリングやゴルフ等）のルールを採り入れることができるので、チーム対抗戦や協力して目標を達成する協同プレー等にも展開できる。</p>
<p>【材料・材質・部品等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手玉（布や新聞紙を丸めた球でも可） ・テープ（赤・青・黄色・白 など） 	